

平成 28 年度フォレスト事業報告

自立訓練（生活訓練）

4 月から定員を 10 名に増員し、特別支援学校新卒者 4 名を受け入れた。発達障害及び自閉傾向のある利用者が半数以上を占め、就職に向けた適切な行動の獲得に向け、毎日の活動と並行して個別プログラムを計画、実施した。利用者によって進捗状況に差はあるが、少しずつ行動の改善が見られるようになった。

就労移行支援

新規利用者 16 名、就職者 14 名、退所者 2 名であった。
月間の平均利用者数が 15 名となり、昨年度よりも少ない利用者数での運営となった。

事業目標達成状況

1. 長期安定就労をめざしたキャリア形成の支援

A) 自立訓練

① 発信力（基礎）

わからないことを「わからない」と言えること、教えてほしい内容を相手に説明できることを目標に取り組みを行った。

② 規律性

出来事に対して反射的に反応するのではなく、今何をすべきか、どのように行動すべきかを考えて行動することを個別に実施。昼休みの過ごし方や感情的になった場合の対処の仕方などが改善されてきた。

B) 就労移行支援

① 発信力（応用）

プログラムを通して、相手に自分の気持ちや考えを伝える訓練を実施。職場実習、就職後などにもうまく対処できる場面を見ることができた。

② 規律性

職場のルールを想定しプログラムへの参加の仕方を提示していった。

③ ストレスコントロール力

周りの人が気になり感情が安定しない場面で自己中心的になった時、今ど

のようにするべきか、その場に適した行動はどのようなものかを考えてもらい、自発的に適切な行動をとることができるように、チェックリストの活用や傾聴を行った。

2. 訓練プログラム

A) 個別プログラム

一人ひとりに合わせた目標を設定し、主にチェックリストを作成することで、目標を達成することの喜びを感じながら行動を改善することができるように取り組みを行った。

また、家庭での行動が安定しない利用者に対しては、家庭訪問を実施し家庭の中でのかかわり方の助言を行うことで、家庭でも安定した行動をとることができるように支援を行った。

B) 全体プログラム

アサーティブトレーニングを5月から開始。専門講師を依頼することでメリハリがつき、利用者にも好評のプログラムとなった。就職先でもアサーティブトレーニングの成果が発揮され、良い評価をいただいている。お習字では今年度から先生の方で出品していただくことになり、上達した利用者が級を取得できるようになった。順調に上達し5級まで進んだ利用者もおり、それぞれの自信につながっている。

3. 企業実習

特別支援学校を新卒の利用者に対しては、複数回の企業実習を行った。これによりフォレストの中では見られなかった課題が明らかになり、就職に向けた新たな取り組みを行うことができた。

4. 家庭、生活支援との連携

生活習慣の改善について、家庭、生活支援担当者と連携を取りながら改善を行った。

5. アフターケア

今年度より、就労支援センターに引き継ぎを行った後も継続して定着支援を行うように変更。利用者や企業の状態に合わせて定着支援を実施した。

6. 地域、特別支援学校への説明会の実施

4月 事業所見学会

8月 事業説明会

2月 事業所説明会

を実施した。

7. ステップアップ就労システムの構築

クラフトと連携し事業説明会、利用者募集、
クラフト→フォレストの就労支援の流れについて説明会を開催した。

8. 年間就職者数

14名

9. 余暇支援

毎月1回余暇支援を実施。OBと現在の利用者で希望する人たちの参加を募り開催した。

10. 職員の人材育成

各種研修会への参加、現場へのフィードバックを行った。